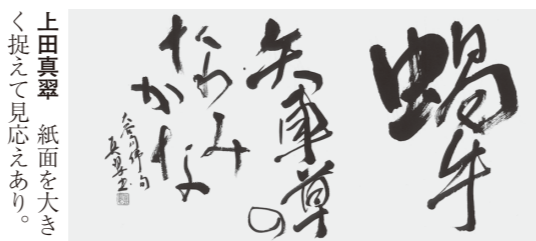
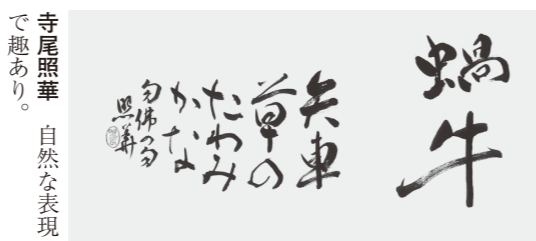


- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

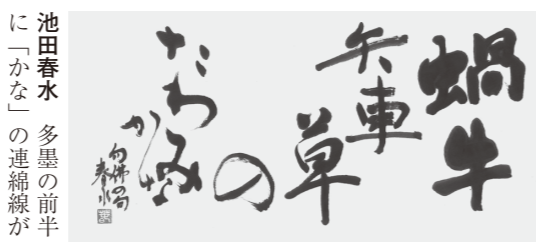
〈B課題の部〉



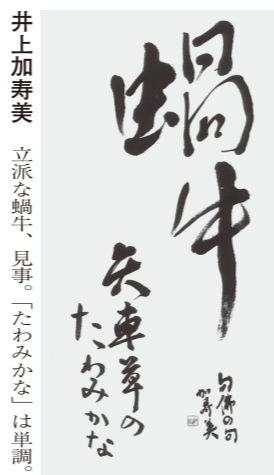
上田真翠 紙面を大きく捉えて見応えあり。



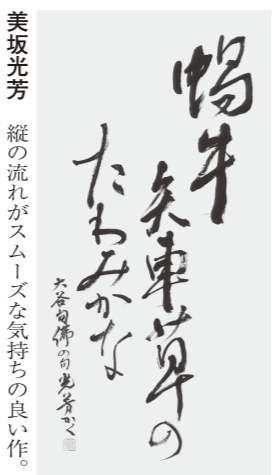
寺尾照華 自然な表現で趣あり。



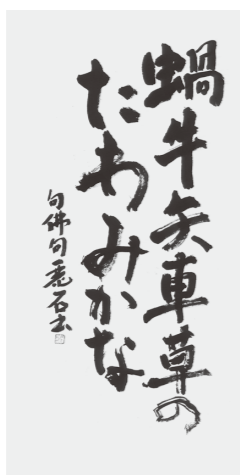
池田春水 多墨の前半に「かな」の連綿線が利いている。



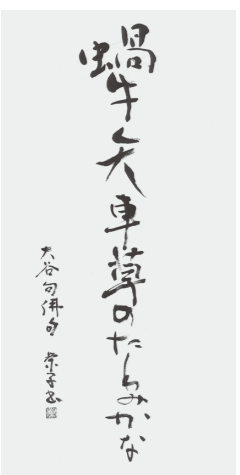
井上加寿美 立派な蝸牛、見事。「たわみかな」は単調。



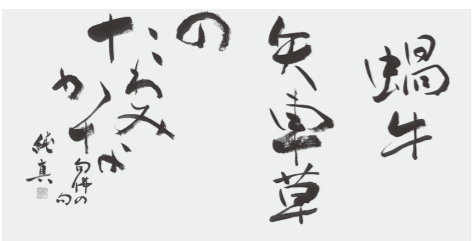
美坂光芳 縦の流れがスムーズな気持ちのよい作。



福島麗石 朴訥とした味わいのある作。



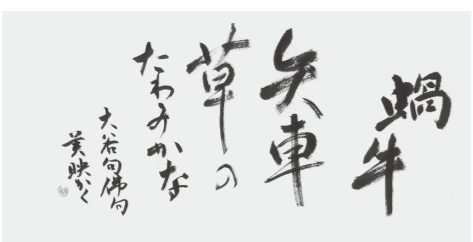
小柿栄子 一行に収め余白を利かしている。



吉田純真 漢字とかなの対比が美しい。「矢車草」はもう少し右に。

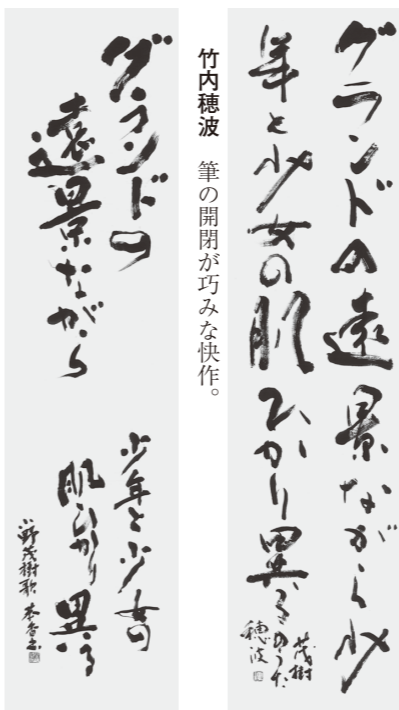


大橋鈴峰 「蝸牛」と小書きのバランスが良い。

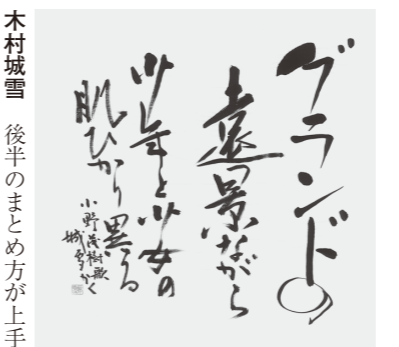


小塩美映 潤筆・渴筆の細線と工夫がうかがえる。

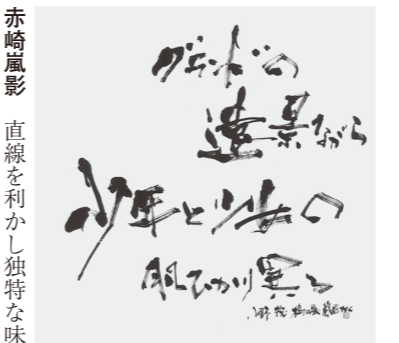
〈A課題の部〉



松下恭香 筆圧の利いた線で立体感あり。



木村城雪 後半のまとめ方が上手い。「の」は異質。



赤崎風影 直線を利かし独特な味を出している。

優秀作品

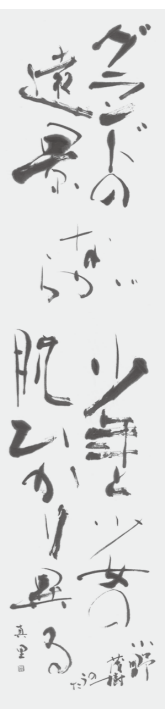
- A 蟻が蝶の羽をひいて行く
ああヨットのやうだ
- B 行く水や竹に蟬鳴く相國寺

(三好達治 詩)
(上島鬼貫 句)

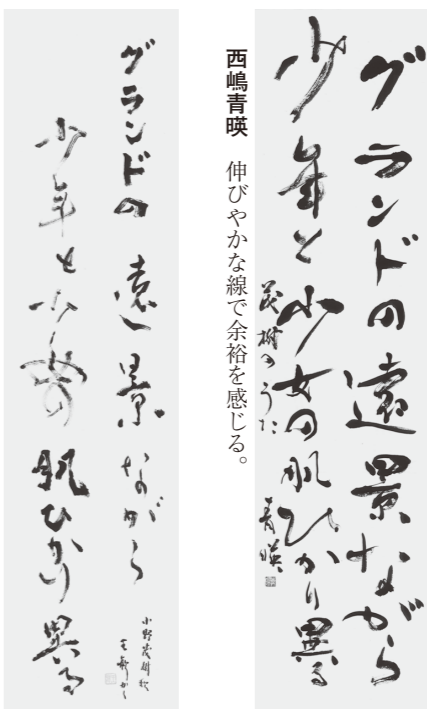
現代書部 次号課題

梅雨入り間近の暑い日に、はじめてアイスショーを見に行きました。ミュージシャンの歌声に合わせ滑るスケーター達は、生き生きと楽しげに、そして華麗に氷の上を舞っていました。普段のきびしい練習を微塵も感じさせずにです。賞取りから解放されたスケーター達の芸術的なスケートを見守っていたいと思っただけとときでした。

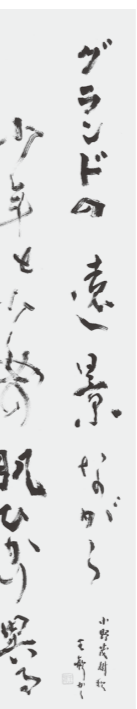
水明展も近づき創作に励んでおられることでしょうか。発表できる場があることはしあわせなことです。評価されることを気にせず、今の一杯の「自分の書」を創ってください。楽しみにしています。



佐藤真里 淡墨の滲みと細線が響きあつた垢抜けた作。



西嶋青咲 伸びやかな線で余裕を感じる。



中井王敏 二行目の渴筆が美しく冴える。